

令和3年度 ひきこもり支援について【北海道分】

1 ひきこもり支援状況等調査について

1 市町村の状況

① 市町村におけるひきこもりの把握状況について n=178

	把握市町村数	把握数	支援有市町村数	支援者数		
R1	94	52.8%	1,011	74	41.6%	663
R2	102	57.3%	1,117	77	43.3%	722
R3	94	52.8%	6,336	79	44.4%	807

※R3～把握数=実数+推計人数となっており、実数及び推計人数を把握している自治体については両方を足し上げています。また、推計人数を算出するにあたり対象とした年齢は自治体によって異なります。

*R3 年齢階層別把握数・支援者数(実数で把握している市町村のみ掲載)

年齢階層	把握数				支援者数				支援につながった割合(B÷A)
	総数(A)	男	女	総数(B)	男	女	総数		
15歳未満	110	8.8%	57	53	103	12.8%	54	49	93.6%
15～19歳	126	10.0%	71	55	105	13.0%	62	43	83.3%
20～29歳	196	15.6%	128	68	140	17.3%	92	48	71.4%
30～39歳	220	17.5%	155	65	134	16.6%	94	40	60.9%
40～49歳	217	17.3%	163	54	130	16.1%	103	27	59.9%
50～59歳	206	16.4%	157	49	107	13.3%	78	29	51.9%
60～69歳	93	7.4%	57	36	49	6.1%	25	24	52.7%
70歳以上	28	2.2%	10	18	20	2.5%	4	16	71.4%
年齢不詳	61	4.9%	42	19	19	2.4%	14	5	31.1%
総数	1,257	100%	840	417	807	100%	526	281	64.2%

	実数を把握		推計人数を把握			
	把握市町村数	人数	把握市町村数	人数		
R3	88	49.4%	1,257	30	16.9%	5,079

※R3～実数で把握している場合と、推計人数で把握している場合に分けて回答を依頼

ひきこもりの把握方法(複数回答可)

1.住民を対象とした調査を実施(無作為抽出)	1
2.住民を対象とした調査を実施(全戸配布)	1
3.住民を対象とした調査を実施(その他の方法)	2
4.民生委員・児童委員等を対象とした調査を実施(聞き取りを含む)	17
5.関係機関・関係団体等を対象とした調査を実施(聞き取りを含む)	15
6.日々の業務(相談対応、訪問、他部署・機関からの情報提供等)で把握	88
7.その他	3

② 市町村におけるひきこもり当事者の会・家族会等の把握状況 n=178

	把握有	内訳			計	
		当事者	家族会	その他		
R1	21	11.8%	6	14	8	28
R2	23	12.9%	12	20	5	37
R3	26	14.6%	9	19	7	35

③-1 ひきこもりサポート事業 n=178

	実施	未実施				
		検討中	未検討・実施予定なし			
R2	2	1.1%	10	5.6%	166	93.3%
R3	7	3.9%	8	4.5%	163	91.6%
R4	6	3.4%	9	5.1%	163	91.6%

※ひきこもりサポート事業の類似事業

	有	無	未記入			
				R4	13	7.3%

③-2 ひきこもり支援ステーション事業 n=178

	実施	未実施				
		検討中	未検討・実施予定なし			
R4	1	0.6%	5	2.8%	172	96.6%

※ひきこもり支援ステーション事業の類似事業

	有	無	未記入			
				R4	3	1.7%

③-3 ひきこもり地域支援センター事業 n=178

	実施	未実施				
		検討中	未検討・実施予定なし			
R4	0	0.0%	5	2.8%	173	97.2%

※ひきこもり地域支援センター事業の類似事業

	有	無	未記入			
				R4	2	1.1%

2 保健所・精神保健福祉センターの状況

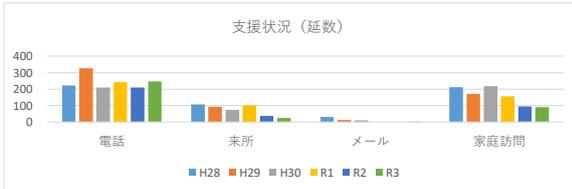
① 支援実績(精神保健福祉センターは電話・来所のみ)

支援方法	H28	H29	H30	R1	R2	R3
電話	102	105	109	156	101	142
来所	51	51	56	62	28	20
メール	5	4	6	0	0	1
家庭訪問	57	58	66	52	30	31
計	215	218	237	270	159	194



② 支援延数

支援方法	H28	H29	H30	R1	R2	R3
電話	222	327	209	243	210	246
来所	107	92	73	101	36	25
メール	30	72	10	0	0	1
家庭訪問	212	171	217	156	94	91
計	571	602	509	500	340	363



③ 保健所におけるひきこもり当事者及び家族会等の把握状況

区分	把握有	内訳			計	
		当事者	家族会	その他		
保健所	18	69.2%	7	21	14	42
センター	1	100%	0	1	0	1

④ 保健所における支援上の課題・地域の課題等(抜粋)

- 家庭内で抱え込みやすく、両親の高齢化などにより問題が深刻化してから顕在化するため、介入や支援が一層困難な事例が多い。
- 規模の小さい管内の場合は、人目を気にして相談せずにいる事例がある。
- 管内に当事者グループや家族会などがないことから、本人や家族の横のつながりがなく、孤立している。
- 家族等からの相談がほとんどで、本人への介入は難しく、支援が長期化する傾向にある。
- 背景に精神疾患や発達障害等の問題を抱えていることが多く、問題が複雑化しているケースが多い。
- 家族や関係機関からの相談で保健所の支援につながるケースもあるが、本人が支援を望んでおらず、目標設定や支援が難しい。
- 家族の問題について「他の人に知られたくない」という思いがあり、町外の社会資源の利用を希望する人が多い。

II 北海道ひきこもり成年相談センターの相談状況について

	相談者実人数		相談者延人数								
	人数	(うち新規)	計	個別相談				訪問			
				小計	電話	来所	メール	出張相談等	小計	本人・家族	その他訪問
R2	236	(92)	524	511	121	100	289	1	13	7	6
R3	243	(91)	513	508	142	63	303	0	5	3	2